



島田まことの政策 3つの基本姿勢

1

幸せを感じられる豊かな社会づくり

子どもたちから高齢者の皆さんまで、また様々な分野で働く皆さんが、幸せを実感できる社会を、今日の社会状況を的確に捉え、国民の英知によって旧来のものとの整合性に配慮しつつ組み替えて実現してゆきます。

2

共生と循環で、持続可能な地方・都市づくりと国際社会づくり

人口減少・少子高齢化傾向が強まる中、地方と都市、日本と国際社会の間に、新たな課題が生まれています。共生と循環という視点で、持続可能な地方・都市づくり、国際社会づくりを進めてゆきます。

3

立憲平和主義

戦後に生まれた日本国憲法は、戦争による国民の大きな反省から生まれました。この憲法に掲げられた、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を尊重してゆきます。

物価高に立ち向かうために

● 時限的に、消費税を5%に、食料品は0%に

まっとうな政治づくりのために

- すべての政治活動費の公開を
- 企業・団体献金、政治資金パーティーの廃止

持続可能な地域経済のために

- 中小企業・個人事業者を支援する
地域経済自立・循環支援体制の確立
- 大規模・IT化農業作りの支援にくわえ、
中小農林業の存続と後継者の育成
- 埼玉県北の特性を生かした、多様な
自然エネルギー創出によるビジネスづくり
- インボイス制度の廃止

女性の地位向上のために

- さらに進めるために、政治をはじめ各分野の
女性の割合を法律で義務化

若者の人生を応援するために

- 若者支援法を制定し、全国の自治体で福祉では
大きな力となっている「社会福祉協議会」のように、
「若者支援協議会」を設置し、若い人たちの様々な
課題を応援サポート。

島田まことは こう考えます!



少子化のために

- 子育てにかかわる社会サービスを積極的に
準公共サービス化。きめ細かな支援で、
子育て世代を国をあげて強力にサポート

高齢者の幸せのために

- 健康で元気に生きがいをもって
地域で生き続けられるように、
新たな相互扶助の仕組みづくり

平和を守るために

- 今の平和憲法を尊重し、全方位外交対話
重視で国際関係の構築を

プロフィール

1958年 寄居町生まれ。熊谷高校、千葉大学園芸学部園芸経済学科 卒業（在学中は有機農業を糸口に、エコロジーと社会経済の調和・融合を探究する）。卒業後は熊谷市役所に勤務し、企画課、都市計画課、情報政策課などの第一線で、政策立案・事業化・システム開発などに従事。

2006年 48歳 寄居町長選挙に挑戦するも惜敗。明治大学・公共政策大学院にて公共政策学修士の学位を取得。

2010年 52歳 寄居町長選挙 初当選（任期4年）。

家族構成

父（横瀬町出身）、母（深谷市出身）、妻（皆野町出身）、子ども3人（自立）。現在は妻（東秩父村・長瀬町・皆野町の元小学校教諭）と2人暮らし。

証紙